

授業科目		担当教員			講義室等	
E 329 リスクコミュニケーション 【Risk Communication】		伊藤 昭好			6206	
学科	必修・選択の別	年次	開講学期	単位数	時間数	
環境マネジメント学科	必修	3	後学期	1	15	
<b>一般目標(G. I. O.)</b>						
リスクの認知と伝達について、欧米における対応を含めて理解する。リスクコミュニケーションのあり方を、事業者、労働者、市民、行政の立場から整理し、有効な方法と現状の問題点について学ぶ。						
<b>行動目標(S. B. O.)</b>						
リスクの認知と伝達について概括的に説明できる。 事業場内・事業場外のそれぞれのリスクコミュニケーションの方法と問題点の主要な点を説明できる。 作業環境管理の専門家にとって必要なリスクコミュニケーション能力について説明できる。						
授 業 内 容	年月日	曜	時限	授業項目	担当者	
				リスク認知とリスクコミュニケーションの必要性 リスクコミュニケーションの基本 行政・事業者にとってのリスクコミュニケーション 市民にとってのリスクコミュニケーション 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS） 化学工業界におけるレスポンシブル・ケア活動		
教 科 書 等	教科書	なし				
	参考書	NRC 編、リスクコミュニケーション前進への提言、2003、化学工業日報社 関沢純編、リスクコミュニケーションの最新動向を探る、2003、化学工業日報社 吉川肇子、リスクとつきあうー危険な時代のコミュニケーション、2000、有斐閣				
その他						